

けいはんな技術交流会

府内中小企業とけいはんな地域に立地する大学・企業研究所との交流・出会いの場を提供し、人的ネットワークの輪を広げ、ニーズとシーズのマッチングの機会を設けることで、企業の技術力の向上・新たな技術開発と活力ある創造的な企業群形成を支援するため「けいはんな技術交流会」を開催しています。

〈交流会の主な活動内容〉

- ◇ **話題提供** 関西文化学術研究都市に立地する大学・研究機関の研究シーズ紹介及び研究施設見学等を実施します。
- ◇ **コーディネート** 大学・研究機関の研究シーズを企業ニーズに結びつけて活用するための意見交換・情報交換の場の提供とコーディネーターに関する支援 ト等の要望に応じた各種支援を行います。

【12月1日(月)に開催の平成20年度第2回(通算28回)交流会の概要をご紹介します。】

〈NTTコミュニケーション科学基礎研究所の技術シーズの紹介〉

- (1) 世の中にあふれる大量の言語資源や情報、さらには実世界からの直接的な情報を結びつけることにより、知能を創造する計算原理及びコミュニケーション基盤の構築を目指す研究
 - ・マイニング研究: 統計的学習技術を駆使した情報の可視化により、顧客のニーズ動向の解析等が可能となる技術の研究
 - ・言語処理研究: コンピュータと人間によるクイズ形式の対話システムや赤ちゃんことばの傾向を検索できることも語辞書等、コンピュータが大量の文書を検索・解析し、人間の質問に答える技術の研究
 - ・センサ情報処理: 環境、人、モノに設置したセンサーから情報を収集し、特定の目的に結びつける研究
- (2) 実世界やネット上での映像や音楽を瞬時に特定するロバストメディア探索の研究
 - ・メディア情報からの特徴抽出と、抽出した特長の照合の双方の工夫により、例えば、映像探索の場合、解像度や色の变化、遮蔽、画像のゆがみ等が存在する条件下においても、目的となる情報を高速に特定する技術(知りたい曲を携帯電話を使って特定することも可能)

地域資源活用研究会 活動のご紹介

けいはんな分室の産業支援活動の一環として、現在取り組み中の研究会活動をご紹介します。

竹は、古来から身の回りに存在する豊富な有用・有効な資源として、食料としての「タケノコ」、そこから派生する「竹の皮」の殺菌性を生かして、おにぎり等の包装材として昔から愛用されています。また、生活の必需品としての「籠の材料」、「しなやかな素材」として、その他にも家具・家屋の構造材等々、人々は竹とともに生き、かつ、さわやかな風をはらむ友として共生してきました。しかし、近年の生活様式の変化や、高齢化社会・過疎化により、管理されない竹藪が放置竹林として社会問題化しています。

そこで、放置竹林を抱えながらもタケノコ産地としての一面を残す山城町において、商工会が中心となって「放置竹林の利用・活用に関する研究会」を立ち上げました。

本研究会は、中小企業庁の平成20年度地域力連携拠点事業として委託された事業で、同志社大学が2003年に設立した「竹の高度利用研究センター」のサポートを受け、近隣の関係者あるいは本活動に賛同の面々が、相互の情報やノウハウを提供し合うことで、新規事業への取り組みを促すなど、商品化やマーケティング研究を通じて、地域力を生かした企業のビジネスモデルを排出し、また、供給から利用までの循環型社会の実現を目指した活動を行っています。

〈平成20年5月20日に京都府商工会連合会が事業採択され、木津川市山城町商工会と共同で推進しています〉

◇ **テーマ**：地域資源活用研究会 サブテーマ：放置竹林の利用・活用に関する研究会

◇ **研究会の概要**

《目的》

やましろ地域における竹の利用・活用に関して、地域の産学公のネットワークを形成し、地域課題の洗い出しや対応についての研究を行い、原材料供給から高度利用の循環サイクルの具体化を図ることを目的として活動しています。

《主な事業》

- (1) 人的ネットワーク形成 産学公が連携して、その知識・技術を結集し、調査研究、情報交換、新技術開発の支援、市場調査を行う場を提供する。
- (2) テーマ別交流会・研究会の実施 先端の竹の高度利用技術や地元企業とのコラボ商品について、テーマ別に交流会、研究会等を開催するとともに研究発表会を開催する。

《会員》

商工業者／竹林所有者／森林組合／大学や研究機関／ベンチャー企業／公的団体及びそれに準じるもの／研究会が認めた趣旨に賛同する商工業に関連のある団体及び個人(代表幹事:同志社大学工学部 藤井 透 教授)

《活動経過》

(1) 第1回 研究会の開催(キックオフセミナー)

開催日 平成20年9月18日(木) 場所 木津川市中央交流会館(いずみホール)

【第1回研究会の概要】

- ① 研究会設立に当たっての趣旨説明と意見交換
- ② 記念講演：竹の利用に関する今後の方向性について(講師 同志社大学工学部 藤井 透 教授)
- ③ セミナー
 - ・放置竹林を生かす(竹からバイオエタノール)：(株)コンティグ・アイ 山田重之 氏
 - ・放置竹林を生かす(竹粉で未来を拓く)：丸大鉄工(株)大石誠一 氏
 - ・日本の住環境と竹：積水ハウス(株)前田雅信 氏
- (2) 中信ビジネスフェア出展 (於:パルスプラザ 平成20年10月16日開催)
- (3) 異業種京都まつり出展 (於:全日空ホテル 平成20年10月29日開催)

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
 けいはんな分室

TEL:0774-95-5027 FAX:0774-98-2202
 E-mail:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp